

# 令和元年度 第2回苫小牧市文化財保護審議会（書面会議） 会議概要

基準日：令和2年3月25日（水）

審議委員：蓑島会長、蓼沼副会長、揚妻委員、阿部委員、一谷委員、坂田委員、  
白木委員、鈴木委員、松本委員、山岸委員 計10名

※本審議会については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、参集  
しての会議を中止し、書面にて会議を開催いたしました。

## 1 議 事

### (1)令和元年度文化財保護事業の報告

令和元年度文化財保護事業について、事務局より説明。

<意見等（整理・要約）>

|   | 意見等   | 意見等に対する事務局の回答等  |
|---|---|---|
| 1 | 【文化財の保護について】<br>必要な修理・補修が的確に行われていると思います。  | 今後も、文化財の状況を適宜把握し、的確に対応するよう努めてまいります。   |
| 2 | 【文化財振興事業について】<br>文化財を普及啓発するため、様々な活動が実施および計画されていることは良いことだが、どのような効果が得られたかについて、検証が必要だと思う。  | 文化財発見ツアーでは参加者へアンケートを実施し、効果の検証を行ってまいりましたが、それ以外のパンフレット作成やPR看板設置などは効果を図る手法が難しく、検証には至っておりません。ご指摘のとおり、検証を行うことで不足している部分が見え、新たな課題が見えるなど事業自体の精度を上げていくことにつながると考えますので、どのような検証が可能か検討してまいります。 |
| 3 | 【文化財振興事業について】<br>パンフレットやツアーには、多くの工夫やアイデアが見られ、内容的には大変充実しており、参加者にとって満足いく学びの機会だったと思う。課題を挙げるとすれば、これら事業の事前事後のPRや、パンフレットにおいてはその多様な活用方法の提案などを丁 | 現行の事業PRにつきましては、広報とまこまいや市ホームページで周知しておりましたが、若い世代が活用しているフェイスブックを利用するとともに、文化財への関心が薄い層に浸透していくような取り組みとして、多くの市民が集まる機会でのPRなどを検  |

|   |   |  |
|---|---|--|
|   | 寧に行うことではないか。若い世代に、如何に気づいてもらい、どう興味をもってもらうかが、今後の事業推進上大きなポイントになっていくと感じている。           | 討してまいります。パンフレットについては、文化財に対する興味関心を高めることを目的に中央図書館やコミセンなど市民が集まる場所に配布し、周知してまいります。さらに、事業PR同様に多くの市民が集まる機会でのPRも検討してまいります。 |
| 4 | <p><b>【文化財振興事業について】</b></p> <p>ユウフツ越え・美々船着場跡の説明看板は、史実を残すという意味で意義深く、良いことだと感じた。</p> | この度の看板は寄贈していただいたもので、市としても非常にありがたく思っております。今後も、苫小牧の歴史・文化を後世に伝えていけるよう努めてまいります。  |

<結果> 委員10名中、承認10名で、承認される

(2)令和2年度文化財保護事業について

令和2年度文化財保護事業に係る予算及び新規事業について、事務局より説明。

<意見等（整理・要約）>

|   | 意見等   | 意見等に対する事務局の回答等   |
|---|---|--|
| 1 | <p><b>【令和2年度予算】</b></p> <p>文化芸術振興事業費</p> <p>アイヌ丸木舟埋没舟泊跡に行ってみたが、冬期間は積雪で車両通行不可、入口にも案内看板もなく、一般の人は行けない状況であるため、道案内看板が必要と思う。</p>                                  | アイヌ丸木舟埋没舟泊跡は、市の自然環境保全地区に指定され、現存のまま残すことを基本に整備等については規制がございます。そのため、関係部局と協議しながら看板等の設置を検討してまいります。 |
| 2 | <p>&lt;令和2年度 新規事業（予定）&gt;</p> <p>①文化財スタンプラリー</p> <p>文化財保護というと、どうしてもルーチンワークになりがちだが、新規事業として行政が、こうした市民への啓蒙活動を行うことは、大変意義のあることだと思う。今後も、こうした活動を積極的に行っていただきたい。</p> | 今後も文化財を知る機会を積極的に設けていきたいと考えております。   |
| 3 | <p>&lt;令和2年度 新規事業（予定）&gt;</p> <p>①文化財スタンプラリー</p>  | クリアファイルにつきましては、子供達が学校の資料等をはさむなど活用できると考   |

|   |   |   |
|---|---|---|
|   | <p>スタンプラリーは企画として大変良いと感じるが、「家族連れ」を主な参加者としてイメージするのであれば、クリアファイルではないものを検討してはどうか。（例として、市内で使用できる食事等の割引券、とまチョップのストラップやシール、缶バッジなど子供や家族がもらってうれしいもの）</p> <p>また、白老町に開設するウポポイは苫小牧市にとって大きな影響があることと感じている。これを機に苫小牧市も様々な分野でまちをPRし、ますますの発展につながっていくよう願っている。</p> | <p>え、記念品として選定しました。次年度以降についてはスタンプラリー参加者へアンケートを行い、事業内容や記念品について意見をいただき検討してまいります。</p> <p>ウポポイの開設を機としたPR強化については市議会でも取り上げられ、旅行者向けにSNSで苫小牧市の情報を発信するなど市としても対応を検討中であります。なお、文化財としてはアイヌ関連で苫小牧を訪れる方が増えるの見込み、令和2年度はアイヌ丸木舟埋没舟泊跡に説明看板を設置予定です。このような取り組みを通じ、苫小牧市のPRにもつなげていきたいと考えております。</p> |
| 4 | <p>&lt;令和2年度 新規事業（予定）&gt;<br/>①文化財スタンプラリー</p> <p>文化財への興味関心を高める工夫は大切。文化財やその歴史の保存が第一だが保存されている文化財を周知して市民に知ってもらおう工夫も必要だと感じる。また、スタンプ設置場所については、テーマを決めて選定するのもいいのではないか。（例えば、明治天皇家行幸跡やユウフツ越え関連など）</p>  | <p>今後も大切な文化財を後世に残していくため保存にかかる整備を進めてまいります。</p> <p>また、文化財の興味関心を高めることも重要であることから、パンフレットの作成やスタンプラリー、文化財発見ツアーなど文化財を知ってもらう機会を今後も作ってまいります。</p> <p>スタンプの設置場所についてはご意見も踏まえ、検討してまいります。</p>  |
| 5 | <p>&lt;令和2年度 新規事業（予定）&gt;<br/>②文化財PR看板の設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌ丸木舟埋没舟泊跡までの案内看板設置</li> <li>・静川遺跡入口に冬季通行不可の表示を行った方がよいと感じる。</li> <li>・静川遺跡へ向かう途中に「右折（200m先）」の看板があるが、そこで曲がってしまう可能性が高く表示内容を変えた方がよいと感じる。</li> </ul>   | <p>アイヌ丸木舟埋没舟泊跡への案内看板については、自然環境保全地区に指定されていることから関係部局と協議しながら設置を検討してまいります。静川遺跡についてはこれまでも現在の案内表示がわかりにくいなどご意見を市民の皆さまからもいただいておりましたことから、土地所有者と協議し、更新を検討してまいります。</p>   |

<結果> 委員10名中、承認10名で、承認される。